

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)綱場プロジェクト	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市博多区綱場町9 他17	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,486 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,880 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年12月20日
敷地面積	2,858 m ²	作成者	登坂壮人
建築面積	2,095 m ²	確認日	2023年1月10日
延床面積	21,786 m ²	確認者	登坂壮人



ごさい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 2.1 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境負荷 L	30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 78% ③上記+②以外の 78% ④上記+ 78% このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.8 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 4.1 機能性 耐用性 対応性 Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 3.1 生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.9 水資源 非再生材料の 汚染物質 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・室内環境、サービス性能への配慮。 ・敷地内外環境への配慮。 ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
・遮音性能への配慮。 ・昼光率への配慮。 ・十分な換気性能を確保している。	・空調・給排水配管は主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を使用。 ・節水型便器、系統の分離、再生水利用有。	・10%以上の外構緑化を行い、中高木を設置している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BPI=1.07 ・BEI=0.72	・再生水利用有 ・リサイクル材を多用している。 ・OAフロアの採用等、解体時のリサイクルに配慮。 ・防水工事のプライマー採用等、化学物質の採用削減に努めている。	・LCCO2排出率=70%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される